

中期経営目標(実施期間 H30～R4)

- ① 若年者入校率を5年間で85%以上に向上させます。
 ② 若年者就職率を5年間で95%以上に向上させます。

1 中期経営目標の進捗状況

測定指標	基準値	実績値(R2)	中間目標値(R2)	最終目標値(R4)
①若年者入校率	60.0%	50.0%	73%	85%
②若年者就職率	87.2%	95.2%	91%	95%

2 令和2年度における主な取組内容

(1)施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取組

若年者の支援について

①入校生確保の取組

- ・県内の高校に産業技術専門学校を知ってもらうため、訓練内容、取得免許及び就職先等を掲載した、入校案内パンフレットを配布しました。
- ・高校生、先生に産業技術専門学校の訓練内容の説明、施設設備の見学、実習体験及び訓練生の作品展示等を行う体験見学会(オープンキャンパス)を8月に開催しました。
- ・随時の施設見学を実施するとともに、9月以降、毎月1回、体験会を5回開催しました。
- ・高校の進路ガイダンスにおいて、訓練内容等の説明を実施しました。
- ・近隣市町の広報誌に「体験見学会」「募集案内」の掲載を依頼しました。
- ・若年サポートステーション石川と連帯し、ものづくり体験を実施しました。
- ・入校生の訓練状況、修了生就職状況を出身高校の進路担当者に伝えました。

②就職支援の取組

- ・訓練内容の充実を図るため、訓練生に対して、訓練の理解度や習熟度に関するアンケートを実施しました。
- ・訓練生の適性や雇用情勢を鑑みたアドバイスを実施するなど、きめ細やかな就職支援を行いました。
- ・修了予定の訓練生を対象に就職定着の支援として、ビジネスマナー講座を実施しました。

(2)施設運営の効率化に向けた取組

- ・積極的な節電(照明・冷暖房)により経費の節減に取り組みました。

(3)その他の取組 (1)、(2)以外の取組があれば記載

- ・住宅地にある施設であるため、毎月環境整備の日を設定し、職員、訓練生で構内の除草、ゴミ清掃、町内の一斉泥上げを行うとともに、機械音の抑制に配慮するなど、環境整備に努めています。

3 令和3年度における取組内容の見直し等

- ・高校生の入校を促進するため、当校で頑張っている訓練生の近況報告や就職内定先を出身校の後輩に紹介するリーフレットを作成し出身校にPRするなど、引き続き若年者入校率の向上に向けた取組を推進します。
- ・ものづくり現場を見学し、訓練生にもものづくりの魅力を伝え、就労意識を高めます。
- ・修了前の段階において、社会人・職業人となるための心構えや、ビジネスマナーなどキャリア教育を取り入れ、職場への適応、長期定着を促進し、産業界に即戦力として役立つ人材育成に努めます。
- ・近隣図書館(ものづくり情報コーナー)に施設内訓練、在職者セミナーのパンフレットを配置し、情報提供に努めます。

参考資料

1 施設の利用状況

(1)利用指標(利用人数、稼働率などの状況)

指標	H28	H29	H30	R1	R2	備考(増減理由等)
入校率 (%)	56.7	56.7	56.7	45.0	50.0	
総合建築科	30.0	35.0	40.0	30.0	50.0	
メカトロニクス科	95.0	60.0	75.0	55.0	50.0	
産業デザイン科	-(※)	-(※)	-(※)	-(※)	-(※)	
電気工事科	45.0	75.0	55.0	50.0	50.0	
入校者数 (人)	34	34	34	27	30	
総合建築科	6	7	8	6	10	
メカトロニクス科	19	12	15	11	10	
産業デザイン科	-(※)	-(※)	-(※)	-(※)	-(※)	
電気工事科	9	15	11	10	10	
応募倍率	0.73	0.62	0.67	0.48	0.57	
総合建築科	0.65	0.40	0.45	0.30	0.60	
メカトロニクス科	1.10	0.65	0.90	0.65	0.50	
産業デザイン科	-(※)	-(※)	-(※)	-(※)	-(※)	
電気工事科	0.45	0.80	0.65	0.50	0.60	
就職率 (%)	90.9	92.0	100.0	92.0	95.2	
総合建築科	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
メカトロニクス科	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
産業デザイン科	-(※)	-(※)	-(※)	-(※)	-(※)	
電気工事科	66.7	83.3	100.0	77.8	87.5	

(※)産業デザイン科は休止

(2)使用許可等の状況

指標	H28	H29	H30	R1	R2	備考(増減理由等)

(3)使用料の収入実績

指標	H28	H29	H30	R1	R2	備考(増減理由等)

2 収支の状況

(単位:千円)

		H28	H29	H30	R1	R2
歳出	運営費	29,294	26,470	29,136	26,058	27,646
	職員費	66,167	72,827	73,834	74,136	76,070
	計	95,461	99,297	102,970	100,194	103,716
歳入	国庫	26,861	28,826	30,134	30,024	34,959
	一般財源	68,560	70,431	72,781	70,122	68,712
	その他	40	40	55	48	45
	計	95,461	99,297	102,970	100,194	103,716

3 利用者1人あたりの一般財源投入額

		H28	H29	H30	R1	R2
一般財源投入額(千円) ①		68,560	70,431	72,781	70,122	68,712
	職員費を除いた額(千円)①'	23,601	20,777	23,428	20,357	21,948
利用者数(人) ②		50(16)	47(13)	46(12)	43(16)	43(13)
利用者1人あたりの一般財源投入額(円) ①÷②		1,371,200	1,498,532	1,582,195	1,630,742	1,597,946
	職員費を除いた額(円) ①'÷②	472,020	442,064	509,304	473,419	510,419